

観光地域づくり法人形成・確立計画

1. 観光地域づくり法人の組織

| | | |
|---------------------------------------|---|---|
| 申請区分 | 広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO | |
| 観光地域づくり法人の名称 | 一般社団法人ふるさと鉄道 DMC | |
| マーケティング・マネジメント対象とする区域 | 区域を構成する地方公共団体名 栃木県日光市、福島県南会津郡下郷町、福島県南会津郡南会津町 | |
| 所在地 | 栃木県日光市轟 1367（一般社団法人日光古民家再生協会内） | |
| 設立時期 | 令和2年4月30日 | |
| 職員数 | 8人【常勤1人（出向等1人）、非常勤7人】 | |
| 代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） | （氏名） 伊藤郁夫 （出身組織名） 一般社団法人日光古民家再生協会 | 一般社団法人日光古民家再生協会理事長として栃木県内の古民家の再生事業や古民家の保全を通じた地域活性化、グリーンツーリズム、移住促進のプラットフォームづくりに携わっている。 |
| データ収集・分析等の専門人材（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） | （氏名） 小栗 卓 *専従 （出身組織名） スマイル日光プロジェクト 会長 | 1999年より青年会議所に17年間在籍、まちづくりに貢献し、2011年度（社）今市青年会議所理事長、2014年度に栃木ブロック協議会会長、日光商工会議所青年部においても2019年度会長、2020年度栃木県商工会議所連合会会長を歴任。 2014年に『スマイル日光プロジェクト』を立ち上げ、現在、日光市内企業のCSR推進。行政やNPOと連携し、起業アドバイザー、SDGs講師を務める。 |
| 財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） | （氏名） 桑原幸枝 （出身組織名） 一般社団法人古民家再生協会福島 | 一般社団法人全国古民家再生協会福島第一支部の不動産業務の担当として古民家再生を通じた街づくりに寄与。古民家物件を多く扱い、状態の優れた古民家を、再活用希望者や古民家に暮らしたい人、関わりたい人へマッチングを行い、移住者や若手起業家が地域で起業し、地域に根差して生活できる環境を提供。 |
| 事業企画・地域運営責任者・プロモーション責任者（専門人材） | （氏名） 坂内 剛至 （出身組織名） 有限会社ネイチャープラネット代表 | 2005年に有限会社ネイチャープラネットを設立。日光・那須の豊かなフィールドを舞台に、カヌー・トレッキング・スノーシューなどの体験ツアーを企画運営。日本セーフティカヌーイング協会（JSCA）公認カヌーインストラクター・日本エコツーリズム協会公認 エコツアーガイド・日本ノルディックウォーキング協会（JNWA）公認 インストラクター・自然体験活動推進協議会（CONE）トレーナー・川に学ぶ体験活動協議会（RAC）トレーナーなど。 |
| 事業企画・地域運営責任者 * 旅行業務取扱管理者 | （氏名） 沼尾綾乃 （出身組織名） 株式会社鬼怒川タクシー代表取締役 | タクシー会社の代表職を継承し10年以上、地元の観光タクシーとして観光活性化に寄与するほか、日光青年会議所理事長職や全国子育てタクシー協会認定の栃木県内第1号の「子育て支援タクシー」を開設、ママさんドライバーの養成など女性活躍推進、地域貢献活動も行っている。 |

(別添) 様式 1

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| <p>事業企画・地域運営 責任者</p> | <p>(氏名) 栗山亀美 (出身組織名) 一般社団法人古民家再生協会福島第一支部</p> | <p>一般社団法人全国古民家再生協会福島第一支部支部長として福島県内の古民家の再生、再利用を通じたまちづくり、及び観光、移住のプラットフォームづくりを行っている。一方、地域の異業種交流団体の会長を務め、他業種経営者とも深い人脈をもち、新しいビジネスを生み出し、県内の経済にも多く貢献している。</p> |
| <p>事業企画・調整・推進、地域人材育成</p> | <p>(氏名) 亀岡政雄 (出身組織名) 一般社団法人古民家再生協会福島第一支部</p> | <p>一般社団法人全国古民家再生協会福島第一支部事務局として、県内の古民家再生の業務の他、一般社団法人日本伝統再築士会の副理事長として、再築基準検討委員会の再築ガイドラインに基づき、伝統構法住宅の耐震診断を行い、古民家が持つ復元力を高める方法で改修に関する方向性を示し、改修を提案し施工指導を行っている。</p> |
| <p>事業企画・調整・推進、地域人材育成</p> | <p>(氏名) 伊藤登志夫 (出身組織名) 一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会福島県郡山支部</p> | <p>一般社団法人全国古民家再生協会福島第一支部の設計及び調査担当として古民家再生に多く寄与している。また、一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会福島県郡山支部の支部長として、自治体などと連携し、空き家を活用したまちづくりプロジェクトや、空き家を所有している方の相談受付、サポートをしている。空き家問題トータルコンサルタント資格インストラクターとして、人材育成にも携わっている。</p> |
| <p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p> | <p>栃木県日光市総合政策課（環境整備、情報提供、関連団体へのコンセンサス形成） 福島県南会津町商工観光課（環境整備、情報提供、関連団体へのコンセンサス形成） 福島県下郷町総合政策課（環境整備、情報提供、関連団体へのコンセンサス形成）</p> | |
| <p>連携する事業者名及び役割</p> | <p>日光市観光協会（情報共有） 南会津町観光物産協会（観光案内） 下郷町観光公社（観光案内） 東武鉄道株式会社（情報共有、アクセス、観光客輸送） 野岩鉄道株式会社（情報共有、アクセス、観光客輸送） 会津鉄道株式会社（情報共有、アクセス、観光客輸送） 株式会社鬼怒川タクシー（観光客輸送） 湯の上タクシー（観光客輸送） 田島タクシー（観光客輸送） 道の駅湯西川（地域産品販売所） 中三依温泉男鹿の湯ーみよりふるさと体験村（温泉、宿泊、キャンプ等観光受け入れ、体験メニュー提供） おじか・きぬ漁業協同組合（観光受け入れ、釣り等体験メニュー提供） 有限会社ネイチャープラネット（観光受け入れ、体験メニュー提供） みよりそば街道振興会（観光受け入れ、そば打ち体験提供） 三依溪流つり場（観光受け入れ、管理） 石臼挽きそば古代村（観光受け入れ、そば打ち体験提供） つちや食堂（地域の食の提供） 独鈷沢わさび園（地域の食の提供） そば処まるみの湯（温泉施設、地域産品販売所） 道の駅しもごう（温泉施設、地域産品販売、地域の食の提供） 一般財団法人大内宿保存整備財団（観光案内） 奥会津博物館（観光受け入れ・案内、体験メニュー提供） 道の駅たじま（観光受け入れ・案内） まちの駅南会津ふるさと物産館（観光受け入れ・案内） 会津田島祇園会館（観光受け入れ・案内）</p> | |

(別添) 様式 1

| | |
|--|---|
| <p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p> | <p>(該当する要件) ②DMCの組織内に関係者で構成するメンバーによるワーキンググループ等を設置する。 (概要) 多様な関係者や観光地経営に直結する地域のコアメンバーを軸として戦略の策定や役割分担と KPI の共有を図り、PDCA サイクルの推進を図っていく。</p> |
| <p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p> | <p>地域のイベントや祭りへの PR ブースの出展を行いながら、地域のメディアに向けて情報発信を行い、啓発や地域住民の理解を深める広報活動を実施する。「古民家 DIY アドバイザー」「古民家ツアーガイド」は地域住民を採用、教育し連携を深める。各自治体の地域おこし協力隊や市民グループと連携し、関連イベント、体験ツアーも協働して開催していく。</p> |
| <p>法人のこれまでの活動実績</p> | <p>(活動の概要) 新規設置法人のため実績なし</p> <p>* DMC 設立に向け、令和元年度は事業主体である日光古民家再生協会と古民家再生協会福島が主催し、関係者による勉強会を 2 回開催、専門家による講演や意見交換を行った。今後も定期的に勉強会や現地調査、モニターツアー等を開催していく予定。</p> |
| <p>実施体制</p> | <p>(実施体制の概要) ふるさと鉄道 DMC が中心となり、該当地域の古民家を活用した地域活性化事業の取り組みや観光での訪問をきっかけにした移住と交流人口の促進のプラットフォームを担う。</p> <p>(実施体制図)</p> <p>* エリアを同じくする DMO 日光、栃木県観光物産協会等とも協力関係を築き、事業展開の際は調整・協力し、イベントやプロモーションの棲み分けを図る。</p> |

2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

栃木県日光市と福島県会津地方を結ぶ会津鉄道、野岩鉄道沿線の日光市、南会津町、下郷町の沿線地域が対象エリア。



茅葺き屋根の古民家の名所



大内宿 (下郷町)



湯野上温泉駅 (下郷町)



前沢曲家集落 (南会津町)



奥会津博物館 (南会津町)

- * 会津線は、福島県会津若松市の西若松駅と福島県南会津郡南会津町の会津高原尾瀬口駅を結ぶ第三セクターである会津鉄道が運営する鉄道路線。
- * 野岩鉄道は栃木県日光市にある新藤原駅と福島県南会津郡南会津町にある会津高原尾瀬口駅を結ぶ同じく第三セクターによる運営である。
- * 東武鉄道、野岩鉄道、会津鉄道の三社を經由して特急「リバティ会津」が浅草駅から会津田島駅まで走行。

【区域設定の考え方】

①都心から公共交通で直行出来る地域である

都心及からDMC区域起点となる野岩鉄道新藤原駅へは東武鉄道の特急列車及び快速列車が乗り入れており、沿線には温泉、スキー場やキャンプ場、塔のへつりや大内宿などの景勝地等観光的資源が多数存在する。鉄道各社は観光ツアーや季節ごとのキャンペーンを多彩に行い、観光客の誘致に努めているため、駅からの二次交通を確保し、観光客の移動範囲を広げれば、滞在型の観光需要の掘り起こしやリピーターの拡大が期待できる。

また江戸時代から会津へ抜ける主要道路として栄えた国道121号線(会津西街道)がこの沿線に並走しており、沿道にはそばなど地元産の食品を提供する飲食店や道の駅が存在。日光や会津若松の有名観光地への観光客が「もう一足伸ばせる立ち寄りエリア」としてこのエリアのポテンシャルは高い。

②地域資源である古民家が多数存在

「大内宿(下郷町)」や「前沢曲家集落(南会津町)」などに代表される会津地方独特の様式の茅葺きの古民家が数多く現存しているエリアである。古民家の旅館や飲食店、カフェなどもあり、古民家の愛好者にとって非常に魅力を感じられる資源があり、近年は空き家になった古民家の売買やリノベーションも自治体の空き家バンクや一般の不動産会社を通じて活発に行われている。

【観光客の実態等】

栃木エリアは世界遺産である日光を有し、首都圏・北関東からの観光客が訪れているが、日帰り客が多く、宿泊・滞在型観光に至っていないのが現状である。福島エリアは東日本大震災や原発事故の風評被害により観光客が伸び悩む課題がある。このエリアはスキー場を多く有する地域であるが、近年のスキー人口が最盛期の3分の1に落ち込んでいることもあり、その影響から冬季の観光売り上げが減少しているのが現状であるが、アウトドアブームや新型コロナウィルス流行で密を避ける観光需要もあり、キャンプ場や溪流での釣り客は増加傾向にある。

江戸時代の古民家の町並みが残る「大内宿」は台湾、タイ、ベトナム等の外国人観光客が年間4万人も

(別添) 様式 1

訪れるなどインバウンドに人気の観光地となっている。雪の風情や雪遊びを楽しみたい南国の外国人には「スノーコンテンツ」も注目を集めている。外国人に人気の温泉や古民家、そばや日本酒などこの地域に豊富な地域の特産品や古くから残る祭礼等を生かした観光コンテンツの開発や情報発信を効果的に行うことで新たな可能性が開けると考えられている。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

①観光施設（観光資源）

●栃木エリア

日光東照宮(二社一寺)、日光江戸村、東武ワールドスクウェア、龍王峡、川治温泉、上三依水生植物園、ダム(ダムツアー)、秘境駅(男鹿高原駅)

●福島エリア

大内宿(国選定重要伝統的建造物群保存地区)、旧南会津郡役所(県指定重要文化財)、前沢曲家集落(重要伝統的建造物群保存地区)、大桃の舞台(国指定有形民俗文化財)、さざえ堂(国指定重要文化財)、中ノ沢観音堂(国地底重要文化財)、湯野上温泉駅(茅葺屋根)、塔のへつり、中山風穴、観音沼森林公園

②商業施設・特産品

●栃木エリア

道の駅湯西川、温泉、エーデルワイススキーリゾート、そば打ち体験、わさび畑

●福島エリア

道の駅しもごう、温泉、たかつえスキー場、会津本郷焼、日本酒の酒蔵、そば、米、アスパラ、トマトなど野菜

③自然・アクティビティ

●栃木エリア

森林、トレッキング、山菜、清流、釣り、カヌー、キャンプ、スキー、紅葉

●福島エリア

森林、トレッキング、山菜、清流、釣り、キャンプ、スキー、花、紅葉、蛍、尾瀬国立公園

④文化・スポーツ・イベント

●栃木エリア

関白流みより獅子舞、岩芝伝統工芸(イジッコ)、炭焼き、蕎麦、ビーフピア in ふじはら、三依杯雪合戦、夏祭り

●福島エリア

栗生沢三ツ獅子、会津田島祇園祭、たていわ夏まつり、南会津そばウォーク、高野三匹獅子、南会津新そば祭り、大内宿雪まつり、かんじきウォーク、風穴ハイキング、小野祭礼踊大会、下野街道ウォーキング

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

| 市町村名 | 宿泊施設数 | 収容人数 | 主な施設名 |
|------|-------|--------|------------------|
| 日光市 | 279 | 38,776 | みよりふるさと体験村、まるみの湯 |
| 南会津町 | 97 | 2,954 | 会津アストリアホテル、花木の宿 |
| 下郷町 | 29 | 833 | ホテル大阪屋、清水屋旅館 |

【利便性：区域までの交通、域内交通】

●栃木エリア

— 区域までの交通 —

(別添) 様式 1

JR 私鉄等：東武鉄道、野岩鉄道、会津鉄道、JR 只見線

国 道：121 号線、400 号線(塩原方面から)

近隣空港：成田空港、羽田空港、福島空港、(各空港から電車)

— 域内交通 —

私 鉄：野岩鉄道

その他：有限会社川治観光タクシー、株式会社鬼怒川タクシー

●福島エリア

— 区域までの交通 —

JR 私鉄等：東武鉄道、野岩鉄道、会津鉄道、JR 只見線、JR 磐越西線

国 道：121 号線、118 号線、等

近隣空港：成田空港、羽田空港、福島空港、(各空港から電車)

— 域内交通 —

私 鉄：会津鉄道

その他：湯野上タクシー、会津交通、田島タクシー、祇園タクシー、会津乗合自動車(会津バス)

【外国人観光客への対応】

●栃木エリア

1999 年に日光東照宮が世界遺産に登録され、以来日光市の外国人宿泊客数は年々増加傾向にあり、

2017 年には 10 万人を上回っている。日光市の年間観光客入込数 1200 万人に対し宿泊数 330 万人(約 25%)

という比率から考えると、外国人訪問者数は 40 万人近いと思われ今後更に増えると予想できる。しかしながら都心からのアクセスの良さから東照宮観光後日帰りですぐに都心に戻るといった傾向が強く東照宮周辺以外へ足を運ぶインバウンドは著しく少ないのが現状であり、東武鉄道から野岩鉄道、会津鉄道を利用して大内宿や鶴ヶ城といった福島エリアへの周遊ルートはインバウンドには殆んど知られていないと言える。

●福島エリア

既に多くのインバウンドが来ている会津地域であるが、インバウンドを誘致し、滞在して観光を楽しんでもらうためには核となる観光資源が少ない。沿線地域の会津地域特有の伝統的な古民家等を生かした新たな観光開発が必要であり、会津地域特有の伝統建築物はインバウンドからも特に興味を持たれている。新規事業希望者を募集し、空き家となっている伝統的建築物を生かした事業を誘致し、その事業を地域が支えていくことにより、より多くの観光資源の開発が期待できる。接客対応についても、英語に加えて中国語についての知識を習得し、台中からのインバウンドをおもてなしできる準備が必要である。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

| 収集するデータ | 収集の目的 | 収集方法 |
|---------------|-----------------------------|------------------------|
| WEBサイトのアクセス状況 | 地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。 | Google アナリティクスを活用して実施。 |
| 観光消費額(1人あたり) | 経済効果を把握するため(KPIに活用) | 自主事業として有識者と協働し、調査実施 |

(別添) 様式 1

| | | |
|--------|-------------------------------------|------------------------------|
| のべ宿泊者数 | 経済効果および宿泊者数の実態を把握するため (KPI に活用) | 自主事業として有識者と協働し、調査実施 |
| 来訪満足度 | 商品企画や造成、各種サービスの評価・改善を図るため (KPI に活用) | 自主事業として来訪者へのアンケート調査や意見交換会を実施 |
| リピーター率 | 各種サービスの評価・改善を図るため (KPI に活用) | 自主事業として来訪者にアンケート調査を継続して実施 |

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

栃木県日光地区、福島県南会津地区ともに古くから会津と日光、江戸を結ぶ街道文化が栄え、昭和以降は山登りやスキー場を中心としたスノーリゾート等で観光産業の盛んな地域であるが、近年は降雪の減少や日帰り客の増加により衰退化がみられる。加えて、近年の少子高齢化と過疎化の影響を受け、地域に観光の担い手が減少する課題も抱えている。大内宿（下郷町）や前澤集落（南会津町）等、独自の様式の茅葺屋根の古民家群や街道沿いの古い町並みなど「古民家」を生かした新たな魅力の磨き上げとおもてなし力の強化、アウトドアや釣りなど with コロナ時代に対応した体験型観光を組み合わせ、広域で滞在型の観光コンテンツの創出が期待されている。

(2) 地域の強みと弱み

| | 好影響 | 悪影響 |
|------|--|---|
| 内部環境 | 強み) Strengths <ul style="list-style-type: none"> ・独自の様式を残した茅葺の古民家 ・大内宿や前澤曲家集落等古民家保全地区、茅葺屋根の駅舎（湯野上温泉駅） ・溪谷や里山を走るローカル鉄道 ・そば街道など特産品が味わえる飲食店 ・都心から2時間のアクセス、公共交通 ・街道の歴史、独自の古い祭礼が現存 | 弱み) Weaknesses <ul style="list-style-type: none"> ・冬季の閑散期（店の休業） ・スキー人口の減少（最盛期の1/3） 雪不足 ・首都圏から日帰り可能、有名温泉地へ宿泊客が流れる、滞在型観光が少ない ・観光・おもてなし人材の不足 ・新たな魅力創出と情報発信の弱さ |
| 外部環境 | 機会) Opportunity <ul style="list-style-type: none"> ・古民家ツーリズムがブーム ・DIY、古民家リノベーションに関心増 ・二拠点移住生活、リモートワークへ移行 ・鉄道ファンの増加（SL やアニメ等） ・歴史や古民家に関心のある外国人観光客の増加 | 脅威) Threat <ul style="list-style-type: none"> ・古民家の空き家の増加、限界集落化 ・人口減少、高齢化 ・後継者不足、観光産業の担い手不足 ・近隣地域との競争・観光客の奪い合い |

(3) ターゲット

○第1ターゲット層
古民家リノベーションやDIY、アウトドアに関心のある首都圏の家族層や若者

○選定の理由
当該地域には豊かな自然を生かしたキャンプ場や溪流釣り場が多数存在し、小さな子供連れでも川遊びやトレッキング、ハイキングが楽しめる。冬季はスキーや雪遊びも盛んであり、四季の移り変わりの中で都

(別添) 様式 1

| |
|--|
| <p>会の喧騒を忘れることができる自然体験の宝庫であり、アウトドアや自然が好きな首都圏の若者や女性、若い家族に向けて「第二の故郷」「二拠点居住地」として位置づけ、観光での訪問をきっかけに、夏冬休みの滞在型観光や移住促進につなげることが大いに期待される。また近年のDIYブームに乗じて、「古民家を自分たちの手でリノベーションしたい」ニーズに応えられるような古民家や建物の空き家が多く存在する。</p> <p>○取り組み方法 地域の空き家となった古民家を活用し、DIY教室や作業の実践が出来る機会を体験型観光の一環として提供。「古民家DIYアドバイザー」を地元で養成し、指導にあたる。希望者にはDMCが取次を行い、DIY可能な古民家物件の売買や賃貸を行い、収益モデルを醸成する。古民家を活用した田舎暮らしや農業体験、茅葺き作業体験等が出来る宿泊施設を創設し、滞在しながら地域住民とのコミュニケーションが図れるようなイベントの開催を通して、移住促進につなげる。名産品を活用した「そば職人養成学校」等を開設、地域内で起業を希望する人の流れを作り、開業を支援する。休耕地を活用した特産品栽培の拡充や付加価値をつけたブランド化、販売促進を行い、ふるさと納税の返礼品の商品開発や販売委託にも協力し、地域商社立ち位置を目指す。田舎暮らしやグリーンツーリズムのメニューを充実させ、日光、南会津、那須や会津エリアへの観光拠点として機能していく。</p> |
| <p>○第2ターゲット層 古民家や農泊、田舎での起業に興味のある首都圏の女性「古民家女子」</p> <p>○選定の理由 懐かしさ・レトロな雰囲気求めて古民家が好きな女性が都会に増えており、古民家を改装したカフェやレストラン、旅館が人気を博している。またDIY好きな女性は古民家を購入し、自らリノベーションを行う事例もある。</p> <p>○取り組み方法 これら都会の「古民家女子」に向けた沿線地区の古民家を中心に据えたプロモーションやイベントを行う。古民家を使ったDIY体験、移住促進や空き家の古民家を使った起業にもつなげていく。</p> |
| <p>○第3ターゲット層 ローカル鉄道ファン、アマチュアカメラマン</p> <p>○選定の理由 地域鉄道（野岩鉄道・会津鉄道）は自然豊かな渓谷や山野の風景が特徴でローカル鉄道ファンに人気の高い路線である。全国で数少ない茅葺屋根の駅舎が存在するなどフォトジェニックな魅力にあふれており、写真愛好家も数多く訪れている。沿線の人々の田舎暮らしを含めて沿線全体をエコミュージアム化していくことで既存の鉄道ファンや写真愛好家にプラスアップの魅力を感じてもらえるような地域となる。</p> <p>○取り組み方法 鉄道事業者とタイアップした「古民家撮影会」、空き家の古民家を活用し、鉄道模型（Nゲージ）施設の設定等を企画、ここでしか味わえない体験や特産品やゆるキャラ、グッズなどの開発販売にも協力し、沿線観光を盛り上げていく。ファンクラブなどを組織し、SNS等を通じて継続的な情報発信を行っていくことで観光来客だけでなく、滞在型観光の推進やその先にある交流人口や移住の促進にもつなげていく。</p> |
| <p>○第4ターゲット層 日本の古民家や農泊に興味のあるインバウンド（欧米・台湾はじめアジア圏）</p> <p>○選定の理由 街全体が国選定重要伝統的建造物群保存地区に指定されている大内宿（下郷町）には台湾、タイ、ベトナム等を中心に年間約4万人の訪日外国人旅行者が訪れる。また古き良き日本の生活スタイルを体験したい外国人旅行者に古民家での民泊や農泊が近年人気を博しており、政府も「文化財活用・理解促進戦略プロ</p> |

(別添) 様式 1

「GRAM 2020」に基づき、古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり、地域に残る古民家等の歴史的資源を観光まちづくりの核として再生・活用する取り組みをスタートさせている。

○取り組み方法

沿線地域の古民家保全地区や泊まれる古民家の宿、地元の特色ある食材や温泉観光施設を案内する「古民家ツーリズムマップ」の外国語版や動画番組を作成し、SNS を使ってインバウンドに向けて訴求する。また沿線内で「インバウンド向け古民家ツアーガイド」を育成し、古民家再生協会（日光・福島）と協力し、インバウンド向けに古民家の魅力をガイド出来る仕組みづくりを行うことで来客満足度やリピート率をあげていく。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

| | |
|------------|--|
| ①コンセプト | 来て・創って・暮らす 古民家と鉄道のある故郷 (観光) (DIY) (移住) |
| ②コンセプトの考え方 | ふるさと鉄道 DMC」の母体は全国的なネットワークを持つ「一般社団法人古民家再生協会」であることから、コンセプトに「来たい(観光)・創る(DIY やリノベーション) 暮らす(移住) 古民家のある故郷へ」を掲げ、沿線地域に現存する古民家を核にした観光や移住促進を実践する。首都圏および全国のネットワーク力を生かし、「古民家好き」「DIY 好き」の女性や「鉄道好きの」ファン、日本の古来の暮らしに関心の外国人を呼び込み、通年型の観光ソフトの開発や移住・企業促進を進め、地域全体の活性化を図る。 |

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

| 項目 | 概要 |
|--------------------------------------|---|
| 戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。 | 戦略会議、情報交換会、HP や SNS による発信、事業報告会 DMC を中心として沿線 1 市 2 町と関連事業者による戦略会議を定期的(月例)に開催する。会議内容の報告を専用ホームページ等で発信。また同一地域内の日光 DMO や隣接する会津 DMO との情報共有・情報交換を行い、イベントや情報発信において差別化が出来るように協議調整の場を設ける。 |
| 観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築 | ・ 専門家やアドバイザーを活用し、古民家 DIY 指導員の養成、おもてなしや外国語の研修会、感染症対策講習等を開催し、観光サービス向上に資する体制を構築する。 ・ 満足度調査やマーケティング調査を実施し、PCDA サイクルに基づき、結果をフィードバックしながら継続的、効率的に改善・向上を図る仕組みづくりを行う。 |
| 観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的 | ・ 地域内の人・モノ・コトの情報収集を元に「古民家」「古民家 DIY」「ローカル鉄道」などテーマを際立たせたメディア向けのプレスリリースの発信や SNS を使ったターゲットへの効果的なプロモーションを |

(別添) 様式 1

| | |
|---------------|-----|
| な情報発信・プロモーション | 行う。 |
|---------------|-----|

6. KPI (実績・目標)

(1) 必須KPI

* 2020年(R2)より計測予定

| 指標項目 | | 2017 (H29) 年度 | 2018 (H30) 年度 | 2019 (R1) 年度 | 2020 (R2) 年度 | 2021 (R3) 年度 | 2022 (R4) 年度 |
|-----------------|----|--|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| ●旅行消費額 (千円) | 目標 | / | | | 日光市 34,476 下郷・南会津 18,162 | 日光市 36,200 下郷・南会津 19,070 | 日光市 38,010 下郷・南会津 20,023 |
| | 実績 | 日光市 35,153 福島全域 - | 日光市 32,835 福島全域 2851 億 | 日光市 - 福島全域 3385 億 | () | () | () |
| ●延べ宿泊者数 (千人) | 目標 | / | | | 日光市 3,457 下郷・南会津 2.2 | 日光市 3,630 下郷・南会津 2.3 | 日光市 3,811 下郷・南会津 2.4 |
| | 実績 | 日光 3,440 *福島全域 813万人*☆ (日光 101) | 日光 3,307 *福島全域 - (日光 92.9) | 日光 3,293 *福島全域 - (日光 119) | () | () | () |
| ●来訪者満足度 (%) | 目標 | / | | | 83% | 85% | 87% |
| | 実績 | 日光 86.8% 福島 86.7% | 日光 84.3% 福島 - | 日光 82.5% 福島 - | () | () | () |
| ●リピーター率 (%) | 目標 | / | | | 82% | 83% | 85% |
| | 実績 | 日光 85.7% 福島 78.7% | 日光 85.7% 福島 - | 日光 - 福島 - | () | () | () |

* 日光市観光客入込数・宿泊数調査結果、日光市観光振興計画に基づく観光実態調査 (R2: 3月)

* 福島県観光地実態調査

* 観光庁/旅行・観光消費動向調査

* ☆東北地方における観光の現状 (平成30年東北運輸局観光部)

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

法人設立後、「栃木県観光動態調査」「日光市観光客入込数・宿泊数調査結果」「福島県観光地実態調査」の数値を踏まえ、組織内で検討を行った。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

日光市の観光客の旅行消費額については「栃木県観光動態調査」を参照。福島県側については県全体のデータのためのため、下郷町、南会津町の観光入れ込み客数に東北地方の旅行消費額の平均金額 (47,959円*宿泊/観光庁旅行・観光消費動向調査 2019年) を乗じた数値で目標値を設定。法人設立後は独自に調査データを取得していく予定だが、既存の数値(日光市は2018年を基準)×5%増でベースとなる目標値を設定した。

(別添) 様式 1

●延べ宿泊者数

日光市の宿泊者数は「日光市観光客入込数・宿泊数調査結果」を参照。下郷町、南会津町はデータがないため、宿泊施設の客室数をベースに稼働率を60%と設定。それぞれ毎年5%ずつアップする形で目標値を算出する。宿泊数についても両町と連携し、独自に調査を実施する。

●来訪者満足度・リピーター率

「栃木県観光動態調査」「福島県観光地実態調査」の2019年までの日光市の調査結果から来訪者満足度(+2%)とリピーター率の目標値を設定する。法人設立以降、エリア内の鉄道駅や道の駅と宿泊施設での定期的なアンケート調査および、ふるさと鉄道DMCで企画する着地型旅行商品の購入者へヒアリング調査を実施する。

(2) その他の目標

| 指標項目 | | 2017 (H29) 年度 | 2018 (H30) 年度 | 2019 (R1) 年度 | 2020 (R2) 年度 | 2021 (R3) 年度 | 2022 (R4) 年度 |
|------------------|----|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| ●ウェブサイト アクセス数 | 目標 | / | | | WEBサイト開設 | 前年比+10% | 前年比+20% |
| | 実績 | | | | | | |
| ●自社企画 ツアー開催回数 | 目標 | / | | | 3 | 12 | 15 |
| | 実績 | | | | | | |
| ●メディア掲載 回数(年) | 目標 | / | | | 5 | 10 | 12 |
| | 実績 | | | | | | |

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

プロモーションやPRの効果を事業の戦略策定や評価検討の指針として活用するために目標値を設定。

【設定にあたっての考え方】

●自社ウェブサイト訪問者数

今後のマーケティング活動に生かすため、DMOの公式サイトへの訪問者数をgoogleアナリティクスで測定する。令和2年度内に開設し、次年度+10%ずつ閲覧数を増加していく目標を設定。

●自社ツアー開催回数

自社オリジナルで開催する企画ツアーの実施回数の目標値を設定、目標に沿って事業展開を行い収益化を図るとともに、参加者へのアンケート調査を併用して行いマーケティングに役立てる。

●メディア掲載回数

DMCの取り組みや企画ツアー等の新聞、雑誌、WEBメディア等へのメディア接触率から経済効果を計測し効果検証を行う。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

| 年度 | 総収入 (円) | 内訳 |
|------------------|------------|---|
| 2020 R2 年度 | 16,000,000 | (内訳の区分例) 【自主財源】 15,000,000 【事業受託収入】 0 【会費収入】 0 【観光・イベント・収益事業収入】 1,000,000 |
| 2021 R3 年度 | 6,100,000 | (内訳の区分例) 【不動産仲介料】 600,000 【事業受託収入】 2,000,000 【ガイド育成収入】 500,000 【観光・イベント・収益事業収入】 3,000,000 |
| 2022 R4 年度 | 7,300,000 | (内訳の区分例) 【不動産仲介料】 1,000,000 【事業受託収入】 2,000,000 【ガイド育成収入】 800,000 【観光・イベント・収益事業収入】 3,500,000 |
| 2023 R5 年度 | 9,000,000 | (内訳の区分例) 【不動産仲介料】 1,500,000 【事業受託収入】 2,500,000 【ガイド育成収入】 1,000,000 【観光・イベント・収益事業収入】 4,000,000 |
| 2024 R6 年度 | 10,200,000 | (内訳の区分例) 【不動産仲介料】 1,500,000 【事業受託収入】 3,000,000 【ガイド育成収入】 1,200,000 【観光・イベント・収益事業収入】 4,500,000 |

(2) 支出

| 年度 | 総支出 | 内訳 |
|------------------|-----------|--|
| 2020 R2 年度 | 4,300,000 | (内訳の区分例) 【一般管理費】 3,800,000 【事業費】 500,000 |
| 2021 R3 年度 | 5,400,000 | (内訳の区分例) 【一般管理費】 4,400,000 【事業費】 1,000,000 |
| 2022 R4 | 5,900,000 | (内訳の区分例) 【一般管理費】 4,400,000 【事業費】 1,500,000 |

(別添) 様式 1

| 年度 | | |
|------------------|-----------|--|
| 2023 R5 年度 | 6,400,000 | (内訳の区分例) 【一般管理費】 4,400,000 【事業費】 2,000,000 |
| 2024 R6 年度 | 6,900,000 | (内訳の区分例) 【一般管理費】 4,400,000 【事業費】 2,500,000 |

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

| |
|--|
| <p>【DMC 単体事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・「古民家 DIY アドバイザー」「古民家ツアーガイド」の育成事業(令和3年～)・「古民家ツーリズム」をテーマに地域資源を生かした観光商品の開発と販売・空き家(古民家)の販売やリノベーション取次により発生する手数料収入・「そば職人養成学校」等、学校の学費収入・古民家ツーリズム、空き家バンクなど地域情報を発信する PR サイトやフリーマガジンでの広告収入・古民家カフェや飲食店、宿泊施設の自社運営や業務委託による営業収入・アウトドアやキャンプツアーの企画販売、受け入れ、ガイドの育成・地元産のお土産やオリジナル商品の企画販売、コンサルティング受託 <p>【行政と連携した事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・空き家バンクサイトへのコンテンツ提供や移住促進イベントの事業受託(令和3年～)・ふるさと納税返礼品等の開発事業、販売促進活動の運営受託(令和3年～) |
|--|

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

野岩鉄道と会津鉄道沿線の古民家ツーリズムの活性化は地域の新たな観光資源の発掘と地域の PR 効果、インバウンド需要が期待される。また交流人口の促進や移住促進も見込めるため大きな可能性を秘めている。栃木県日光市、福島県南会津町、福島県下郷町は「一般社団法人ふるさと鉄道 DMC」を地域連携 DMO として推薦します。

9. 記入担当者連絡先

| |
|--|
| 担当者氏名 伊藤郁夫 |
| 担当部署名(役職) 一般社団法人日光古民家再生協会 |
| 所在地 栃木県日光市轟 1367 |
| 電話番号(直通) 0288-25-7765 |
| FAX 番号 0288-21-7773 |
| E-mail ito-planning.office@royal.ocn.ne.jp |

| |
|---------------------------|
| 担当者氏名 栗山亀美 |
| 担当部署名(役職) 一般社団法人古民家再生協会福島 |
| 所在地 福島県郡山市芳賀一丁目 16 番 1 号 |
| 電話番号(直通) 024-926-0661 |
| FAX 番号 024-954-9210 |

(別添) 様式 1

| |
|-----------------------------------|
| E-mail info@kominka-fukushima.org |
|-----------------------------------|

| |
|-----------------------------------|
| 担当者氏名 亀岡政雄 |
| 担当部署名(役職) 一般社団法人古民家再生協会福島 |
| 所在地 福島県郡山市芳賀一丁目16番1号 |
| 電話番号(直通) 024-926-0661 |
| FAX番号 024-954-9210 |
| E-mail info@kominka-fukushima.org |

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

| |
|------------------------------------|
| 都道府県・市町村名 栃木県日光市 |
| 担当者氏名 課長 鈴木和仁 |
| 担当部署名(役職) 企画総務部総合政策課 |
| 所在地 栃木県日光市今市本町1 |
| 電話番号(直通) 0288-21-5131 |
| FAX番号 0288-21-5137 |
| E-mail kazuhiko-s@city.nikko.lg.jp |

| |
|-----------------------|
| 都道府県・市町村名 栃木県日光市 |
| 担当者氏名 担当未定(調整中) |
| 担当部署名(役職) 観光経済部観光課 |
| 所在地 栃木県日光市今市本町1 |
| 電話番号(直通) 0288-21-5196 |
| FAX番号 0288-21-5121 |
| E-mail |

| |
|--|
| 都道府県・市町村名 福島県南会津町 |
| 担当者氏名 副主査 津吹 雅之 |
| 担当部署名(役職) 商工観光課観光交流係 |
| 所在地 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲 3531-1 |
| 電話番号(直通) 0241-62-6200 |
| FAX番号 0241-62-1288 |
| E-mail tsubuki-masayuki@minamiaizu.org |

| |
|--|
| 都道府県・市町村名 福島県下郷町 |
| 担当者氏名 課長 玉川武之 |
| 担当部署名(役職) 総合政策課(観光係含) |
| 所在地 福島県南会津郡下郷町大字塩生字大石 1000 |
| 電話番号(直通) 0241-69-1144 |
| FAX番号 0241-69-1167 |
| E-mail kikaku_00@town.shimogo.fukushima.jp |

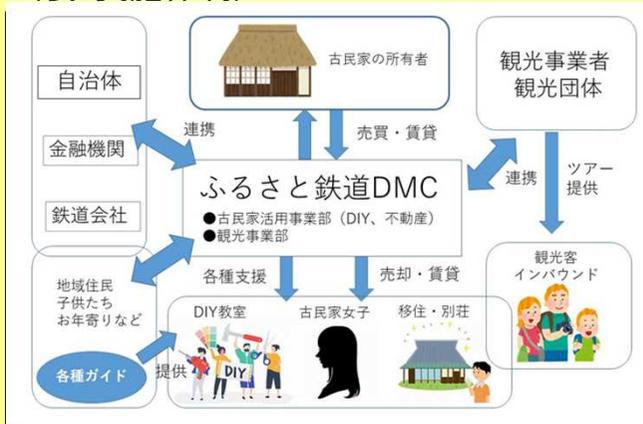
来て・創って・暮らす 古民家と鉄道のある故郷

ふるさと鉄道DMC／登録区分名：地域連携DMO

【区域】栃木県日光市
福島県南会津町、下郷町
【設立時期】令和2年4月30日

【代表者】
伊藤郁夫（一社日光古民家再生協会代表理事）
【マーケティング責任者】
小栗 卓（スマイル日光プロジェクト会長）
【職員数】
8名
【連携する主な事業者】
会津鉄道、野岩鉄道、鬼怒川タクシー他

（表：実施体制）



（表：KPI(実績・目標)）

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 旅行消費額(千円) | 日光市34,476 下郷・南会津 18,162 | 日光市36200 下郷・南会津 19,070 | 日光市38,010 下郷・南会津 20,023 |
| 延べ宿泊者数(千人) | 日光市 3,457 下郷・南会津 2.2 | 日光市 3,630 下郷・南会津 2.3 | 日光市 3,811 下郷・南会津 2.4 |
| 来訪者満足度 | 83% ☆独自に調査実施 | 85% | 87% |
| リピーター率 | 82% ☆独自に調査実施 | 83% | 85% |

観光に関する取組

- 空き古民家を活用した、体験型宿泊施設の運営
- 名産品を活用した「そば学校」開設
- 「ふるさと鉄道古民家ガイド(仮)」の育成事業
- 交通機関と連携した古民家ツアー
- 古民家撮影会
- 古民家ファンクラブの企画運営

インバウンドに関する取組

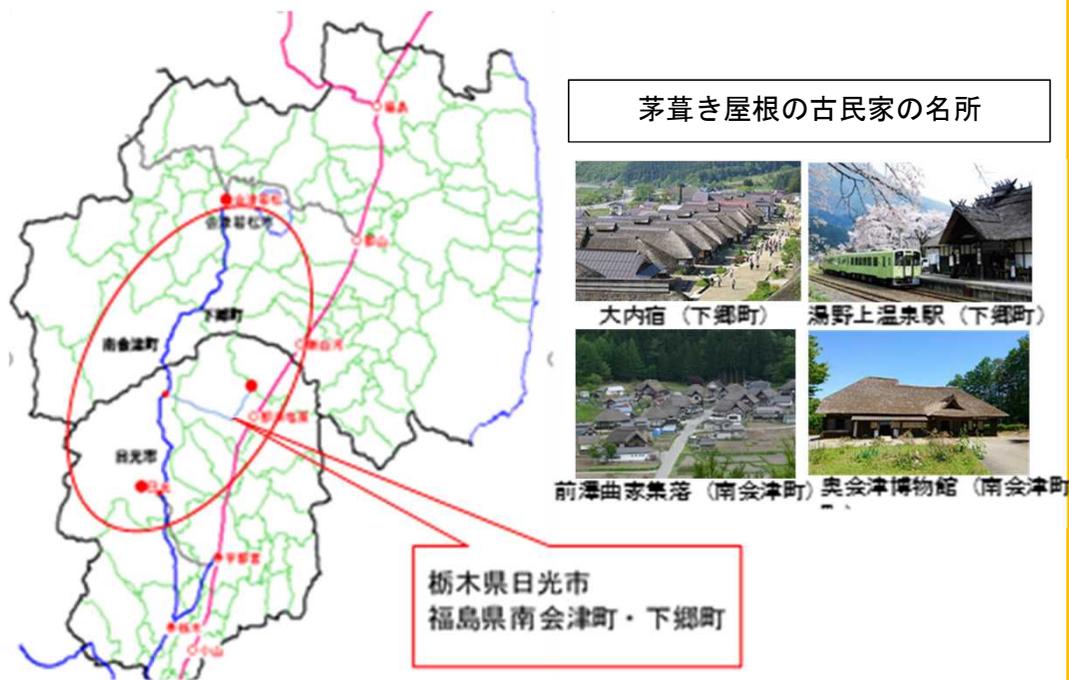
- 古民家保全地区や泊まれる古民家の宿、地元の特色ある食材や温泉観光施設を案内する「古民家ツーリズムマップ外国語版」の制作
- 動画番組、SNSによる発信
- 「インバウンド向け古民家ガイド」の育成
- タクシー会社等と協力したインバウンド向け古民家ツアーの実施

移住促進に関する取組

- 首都圏で「古民家女子」向けのPRイベントやDIYの事例等を紹介するセミナーの実施
- 空き家バンクの運営、古民家の販売サイトの運営
- 若者向け古民家ウェブサイトやフリーマガジンの発行、動画制作
- モニターツアーの実施

食と農に関する取組

- 農泊、農業体験ツアー
- 地域の食材を活用した新商品の開発、6次化の提案
- ふるさと納税返礼品の開発
- 古民家カフェの開店支援、コンサルティング
- 朝市やマルシェの企画運営



栃木県日光市と福島県会津地方を結ぶ会津鉄道、野岩鉄道沿線の日光市、南会津町、下郷町の沿線地域が対象エリア